

主催事業

## いわて震災詩歌 2017 作品募集のお知らせ

あの東日本大震災から5年半。被災地では、明日の希望に向けた着実な歩みが続いています。いわてアートサポートセンターでは、被災した方々や、被災地に寄り添う方々から、その思いが凝縮した詩を募集します。お寄せいただいた作品は、選考を経た上で、何篇かを詩集「いわて震災詩歌」として発行します。

### 【応募方法】

応募点数は1人3編以内とし、1編が400字原稿用紙4枚以内。ワープロ原稿も可。作品は未発表のものに限る。応募原稿は返却しません。作品には「題名」「住所」「電話番号」「氏名」「年齢」「学校名又は職業」を明記の上、いわてアートサポートセンターまで郵送のこと。

【応募資格】岩手出身の方、又は岩手在住の方。

【応募締切】11月30日(水) 必着。

※その他詳細についてはお問合せください。

いわてアートサポートセンター



## 鉤屋町界限イベント情報



### 12<sup>土</sup> 町家の新そば会

【日時】11月12日(土) 11:00～14:00

【会場】大慈清水お休み処

【会費】500円 ※数量限定 無くなり次第終了

【問合せ】盛岡まち並み塾事務局(大慈清水御休み処)  
019-622-8989

### 12<sup>土</sup>▶13<sup>日</sup> 町家のクリスマスフェア

手作りクリスマスグッズを多数販売!

【日時】11月12日(土)・13日(日) 10:30～16:00

【会場】もりおか町家三崙亭(もりおか町家物語館斜め向い)



発行者

特定非営利活動法人

いわてアートサポートセンター

【事務局/風のスタジオ・風のアトリエ】

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階

TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021

E-mail kaze@iwate-arts.jp

URL http://iwate-arts.jp

【窓口営業時間】13:00～19:00(平日)

【施設利用可能時間】9:30～21:30

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 盛岡市鉤屋町10-8

TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913

E-mail machiya@iwate-arts.jp

URL http://machiya.iwate-arts.jp

【開館時間】9:00～19:00(入館は18:30まで)

※浜藤ホールのみ、利用時は21:30まで

【休館日】毎月第4火曜(休日の場合はその翌日)

年未年始:12/29～1/3

【入館料】無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

◎プレイガイドをご利用下さい!

いわてアートサポートセンター窓口と、もりおか町家物語館母屋案内所には、プレイガイドを設置しております。

販売手数料5%(消費税込み)で、イベントチケットをお預かりします。直接ご来館のうえ、職員にお声がけください。



## もりおか町家・風の通信

11月号

いわてアートサポートセンター 風のスタジオ

## イベント情報

11/19▶20 土 日  
ピンポロ presents 作/堤泰之(プラチナペーパーズ)  
『見果てぬ夢』 演出/東隆幸

とある病院の中庭。ここは入院患者と家族たちの憩いの場だ。訪れる人々の笑い、怒り、嘆き、そして悩み。それぞれの想いが描く軌跡は、まるで迷路のよう。命や人生と向き合いながら歩み辿り着いた出口で、何をとおもうのだろう。

【日時】11月19日(土) 14:30 / 19:00 ※開場は開演の30分前  
20日(日) 14:30 受付開始は40分前  
※未就学児入場不可

【料金】一般 前売1,200円 / 当日精算1,500円 / 当日1,800円  
高校生以下 前売 800円 / 当日精算1,000円 / 当日1,300円

【会場】いわてアートサポートセンター 風のスタジオ

【問合せ】コガワ 090-7330-2488 pinporo.seisaku@gmail.com

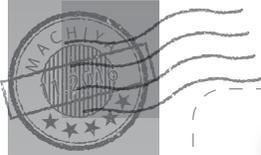
11/26▶27 土 日  
岩手大学劇団かつぱ2016年秋期公演  
『夏こもごも』 作/藤原さつき 演出/川畑慶浩

【日時】11月26日(土) 14:00 / 18:00  
27日(日) 10:30 / 15:00

【会場】いわてアートサポートセンター 風のスタジオ

【問合せ】松本 090-4960-3904





主催事業



森荘已池劇場第3回公演・劇団赤い風第77回公演

「春谷暁臥」の書かれた日  
現代人形浄瑠璃『氷柱』

盛岡市鉦屋町出身の直木賞作家森荘已池の作品を地の文まで丸ごと台詞化する「物語る演劇」という独特の手法で、盛岡の「劇団赤い風」が演劇化します。

- 【日 時】11月19日(土)開演 14:00 / 開演 18:00  
11月20日(日)開演 14:00 (各回 30分前開場)
- 【会 場】もりおか町家物語館 浜藤ホール
- 【入場料】一般 1,500円 (当日 1,800円)  
学生・シニア 1,200円 (前売・当日共通)  
未就学児無料 ※全席自由



売り手よし / 買い手よし / 世間よし / /  
～南部もりおか物売りふれ声～

明治から昭和初期にかけて実際に盛岡近郊で聞こえていた「物売り声」を再生、再現します。物売りの声で季節を感じていたときにタイムスリップいたしましょう。

- 【日 時】11月26日(土)～12月18日(日)
- 【会 場】大正蔵 2階
- 【入場料】無料

事業報告

MACHIYART 2016

2年ぶり2回目となる「MACHIYART」を開催しました。今回は、いわてアートプロジェクト 2016 実行委員会による「アーティスト達とのワークショップ」と、盛岡彫刻シンポジウム実行委員会による「野外彫刻展」の2本立て。

「アーティスト達とのワークショップ」は、9月3日～10日、母屋2階にて7人のアーティストたちが日替わりでワークショップをおこない、参加者が作品制作を体験しました。「野外彫刻展」では、10月10日～23日、風の広場に石彫作品が5点展示され、来館者の皆様が思い思いに鑑賞しました。

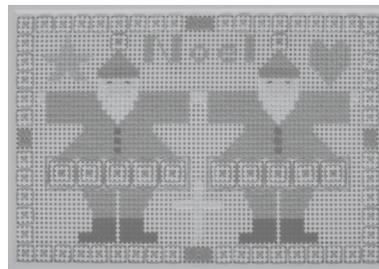
盛岡町家の雰囲気なかで、それぞれアートを楽しんでいただけたのではないでしょう。



野外彫刻展 展示風景

カフェDOMAからのお知らせ

ちっちゃなクリスマス展 ～ピッピ手芸教室～



11月1日(火)～11月30日(水)  
パナマのモラ、アップリケ、刺繍、アールポイント  
※ピッピ手芸教室と同時開催 (11/1～)

カフェDOMA

営業時間 11:00～16:00

《定休日：毎週火曜日》

11月19日(土)は18:00まで営業

※カフェ営業時間以外でも、施設開館中は展示見学可能です。

11/3 木・祝

第69回岩手芸術祭 [映像部門]  
映像フェスティバル

もりおか町家物語館  
イベント情報

入賞並びに入選作品の上映発表と講評を行います。  
【日 時】11月3日(木・祝) 13:00～  
【会 場】もりおか町家物語館 浜藤ホール  
【入場料】無料  
【問合せ】もりおか町家物語館

◆大正蔵 1階「時空の商店街」冬季営業時間のお知らせ

大正蔵 1階「時空の商店街」は、11月1日から3月31日まで冬季営業時間《10:00～17:00》となります。ご了承下さいますようお願いいたします。

リレーコラム No.7  
『森荘已池劇場』

もりおか町家物語館の三回目の森荘已池劇場は、11月19日(土)と20日(日)が公演日。今回は新公開が2本。前半(1本目)は例年のとおり小説の会話文も情景描写もセリフ化する「物語る演劇」で、盛岡中学5年の森少年と花巻農学校教師宮沢賢治が小岩井から柳沢、焼走りあたりまで散策する「春谷暁臥が書かれた日」を上演。

この作品は、賢治さんの性格がとてもよく描かれている。清々しい柳沢の岩手山神社付近の朝の空気の中、賢治さんと森少年は盛岡から持参した食パン(仁王の小原精養堂製)を湧き水だけで食する。その味は、どんな料理よりもうまかったという。そして、賢治さんは声を出しながらあたりを踊りまわる。それはまさしく、今でいうコンテンポラリーダンスで、森少年は、後年見た江口隆哉などのモダンダンスに似ていたと述懐する。さんざ踊りと鹿踊りくらいしか知らない当時の森少年にとって、おそらく衝撃的な踊りに見えたろう。

後半(2本目)は昭和15年の芥川賞の候補作品となった「氷柱」を、物語る「現代人形浄瑠璃」として上演する。鉦屋町に長く住んでいた鈴江家は盛岡藩第二代藩主・南部重信時代に、遠く淡路から人形を携えて盛岡にやってきた人形操り師であった。その後、鈴江家は藩より、他領からの操芝居や浄瑠璃語りなどの興行差配を任せられ、藩の御印判師を兼業していた。鈴江家が自らの興行に使用した人形が現存し、今は岩手県立博物館にあるが、昨年のその2体が複製され、淡路の人形座がもりおか町家物語館でワークショップを行った。

なんとか、この復活人形に命を吹き込ませたいと、今回、森さんの作品にこの人形も出演させて上演することとなった。淡路人形芝居のような古典的な浄瑠璃ではなく、物語る演劇の手法を軸にした全く新しい形の操芝居である。主人公とその相手役は人形が務め、人形遣いが台詞をいう。情景描写は役者が太夫を務め、三味線は津軽三味線の藤原翼さんが担う。太夫がときに出演者になって人形と絡む。だれもが初めての試みで不安は尽きないが、生みの苦しきもまた演劇の楽しみのひとつ。

実は、鉦屋町の鈴江家と森荘已池さんの自宅は庭つづきの隣である。不思議な縁を感じる。

特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター  
理事長 坂田 裕一